

鶴城中だより

文責 校長 船津 巧 No.20

優しさ・気遣い・思いやり

みんなの思いがつながって

閉校記念事業実行委員会が組織され、活動を始めた。今後、在校生と一緒に、最後の思い出づくりと記念碑や記念誌などの製作が始まる。一方、在校生を含め皆が、様々な場所で大活躍している。今後、21世紀を逞しく生き抜く力を身につけ、一層活躍していくに違いない。

インターネットを見ていると、次のような記事が目にとまった。

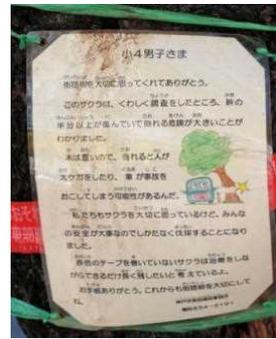
『ある駅前に皆に親しまれている桜並木』

「ぼくの大好きな桜を切らないで」という見出しで神戸新聞に掲載された記事である。

「このまま桜を切ってしまうのであれば記事に」と、小学4年の児童が「桜を切らないで」と書いた手紙を桜の木に貼り付けた。

道があり、この並木の一部が伐採されることになった。

ならなかったはずである。ところが、市役所担当者の気遣いはやさしく、木を伐採するやむを得ない理由と、桜を大切に思っている事への感謝の気持ちを返事として張り出した。



すると、同じ児童から、木が切られる理由に納得したようで、「また新しい桜をうえてほしい。」と書いた手紙とひまわりの種が数十個、郵送されてきた。

『子どもの純粋な思いを大切にすることなく、一方的にダメと言ってしまうのではなく、周りの者がこの優しさをもって対応できたならば、一層豊かな感性を持つ大人へと育つに違いない。』

本校では、卒業後の活躍を願い、きちんと説明する力を付けさせるために、根拠と理由づけを大切にしながら考えを主張できる力を身につけさせる授業を展開しているところである。

うれしい寄せ書き

11月10日、鹿北中学校で、市北部地区音楽会がありました。鹿北小、鹿北中、平小城小、三岳小、鶴城中が参加し合唱や演奏を披露しました。

本校からは、3年生が「結くゆい」と「Story」を歌いました。16名の心が一つになり、一生懸命に思いを込めて歌う姿は会

場のみんなに感動を与えたようです。歌い終わった生徒には充実感と達成感にあふれ、会場にいた保護者、担任の目から涙が流れていました。



これは、三岳小4年生

素晴らしい限りです

「少年の主張」熊本県大会で優秀賞を受賞した松元さんは、山鹿市青少年健全育成大会（八千代座）で「どうだ、私の家族は最高でしょう」を本校文化祭に続き、三たび発表しました。堂々と発表



日常生活で、ちょっとしたことに気づいた松元さんの感性は素晴らしい限りです。

中体連駅伝大会

10月17日、カルチャースポーツセンターにて、市中学生連駅伝競走大会が開催されました。

本校は、女子が4位以内を、男子は最下位脱出を目指し、毎日朝練などで頑張ってきました。



鶴城中の誉れ

- ◎「少年の主張」県大会 優秀賞 松元さん
 - ◎市英語暗唱大会 三年2位 裨島・森さん
 - ◎市科学展 発明工夫展 佳作 上田・裨島さん
 - 〃丸山・瀬戸・山口
 - ◎ソフトテニス新人戦 準優勝 堀川・江藤ペア
- いろいろなところで活躍する鶴城中生です。応援をお願いします。



目標達成はできませんでしたが、持てる力を出し、必死に頑張る選手の様子に、応援する全員が元気を貰いました。